



考えてみませんか？  
残された家族が困らないように…

娘が撮り続けた家族の記録！ 感動のドキュメンタリー映画



# エンディングノート

～これはあるひとつの家族の物語。そして誰にでも訪れる最後の物語。～

21世紀の素晴らしい落語を呼吸した思い。いろいろ言わずに、100点をあげたい。  
(コピーライター) 糸井重里

砂田さんの最終章は60代の教科書だ。  
(青森大学教授・エッセイスト) 見城美枝子

この映画を見たら、みんなエンディングノートを書きたくなるに違いない。  
(プロデューサー) 残間里江子



日時：6月26日(水) 午前10時30分～12時10分  
(開場：午前10時)

会場：東部学習センター レインボーホール

定員：200人(申込み先着順)

入場料：無料

申込先：6月1日より受付開始

鎌ヶ谷市男女共同参画推進センター

申込時に、住所・氏名・電話番号・年代をお知らせください

TEL：047-401-0891 FAX：047-401-0892

メール：danjyo@city.kamagaya.chiba.jp

保育あり：1歳10か月～未就学児 5名まで

(保険料他 200円)

子どもの氏名(ふりがな)・生年月日・性別をお知らせください

保育申込みは、6月10日(月)まで



私の名前は砂田智昭。

享年69になります。

ガン告知の後、まず最初に取り組んだのは“エンディングノート”と呼ばれるマニュアル作りでございました。自分の人生をきちんとデッサンしておかないと、残された家族は困るでしょうから…。

